



季節が過ぎ行くのは早いもので、暦の上では立冬を迎えました。

今年の秋は柿が豊作のようで、多くの家の軒先で皮のむかれた鮮やかなオレンジ色をした柿がつるされているのをよく目にします。西条柿が特産品である三隅町、「白砂公民館だより」あとがきにも

今年は昨年の方まで西条柿が実っています。生産者の皆さんは出荷でとても忙しそう。送られる柿にはふるさとの思いがたくさん詰まっていて、私は三隅を離れたことがないからわからないけれど、柿箱が届いたときふるさとの情景が目の前に浮かんでくるのでしょうか・・・

と地域の活況ぶりとふるさと宅急便のぬくもりを紹介しています。

さて、皆様の市町、各地域におかれましては、9月から11月にかけて敬老会、運動会、公民館祭、文化祭等たくさんの事業が開催され多くの人の賑わいが見られたのではないのでしょうか。公民館等社会教育に携わるものは、こうした地域の人の笑顔、喜び、活力等が何よりもうれしいもので明日からの仕事に向かうエネルギーになっているのではないのでしょうか。

大変ご多忙の中、秋のセンター主催講座に多くの人に受講いただきました。その様子を紹介させていただきます。



研修報告 9・10月の研修の様子をお伝えします

専門研修 コーディネート術実践講座

期 日 : 9月14日(水)
場 所 : 浜田合同庁舎 (大会議室)
受講者 : 37名

県社会教育課と共催で公民館職員、放課後子どもプランコーディネーター、学校支援地域本部事業地域コーディネーターを対象にして、神戸市からライフデザイン研究所 FLAP 代表 岩木啓子さんを講師にお迎えし、「協働を生み出すコーディネートのある方」をテーマにディスカッションをし、講義を聴きました。

即答フリップ式全員参加型ディスカッションでは、短時間に自分の考えをフリップにまとめ、意見交換をしました。岩木先生のリードで9つのテーマでディスカッションしましたが、効率よく全員が多くの考えを発表し合いました。



- 声** ◆発言するのが楽しくなりました。
- ◆他の地域の方の意見や多くの方の意見・考えがストレートに聞けて良かったです。
 - ◆地域の多様な主体が参画する協働の場をデザインすることには共感しました。
 - ◆地域、子ども、親のニーズに合わせた活動や地域課題と向き合っていくような活動をコーディネートできたらいいなと思います。

基礎研修 コミュニケーション術入門

期 日 : 9月27日(火)
場 所 : 邑南町健康センター (元気館)
受講者 : 10名

まず、全員で、チームで、そしてペアで、アイスブレイクをして人と関わることの楽しさ、おもしろさを体感した後、親学プログラムの中のワーク「子どもに伝えるのって難しい!」と「聞く耳ってどんな耳?」を使い、言葉だけで伝えることの難しさと人の話を聞く時に大切にしたいことについて考え、話し合いました。



- 声** ◆自分のコミュニケーションの取り方を少し見直すことができました。
- ◆相手の目を見て、手を止めて、きちんと聞くという姿勢が大切だと思いました。
 - ◆地域の方の声(情報)をうまく聞き出せるようになれそうな気がしました。

課題別研修 親学ファシリテーター養成講座

期日：10月11日(火)・12日(水)
 場所：西部社会教育研修センター
 受講者：13名

島根大学生涯学習教育研究センター 日野伸哉准教授を講師にお迎えし、開催されました。

参加者は、自分たちで親学プログラムの中からプログラムを選び、分担を決め、練習を行った後、親学ファシリテーターとして前に立ちました。皆さんとても初めてとは思えない素晴らしいファシリテートぶりでした。



声

- ◆公民館の仕事で区内の保護者の集まりで使えたらと思います。
- ◆2日間、本当に充実した研修になりました。ファシリテーターとしてやっていけるか不安でしたが、研修で色々なことを知ったり、学んだりでき、これからの自信に変わりました。
- ◆他の参加者の方とも知り合いになれ、これからも情報交換ができそうです。

課題別研修 親学ファシリテーターフォローアップ研修

期日：10月31日(月)
 場所：西部社会教育研修センター
 受講者：20名

「より効果的な親学への取組みとなるように」をテーマに香川大学生涯学習教育研究センター長 清國祐二 先生と島根大学生涯学習教育研究センター准教授 日野伸哉 先生のお二人を講師に招き、平成22年度親学ファシリテーター養成講座修了者20名が、講義・演習や実践事例紹介・グループ協議を通して、親学ファシリテーターとしての意識や実践力を高めました。



声

- ◆自分の実践のことも言えたり、他の方の取組み・悩みも聴けて本当に良かったです。身になる研修で、清國先生・日野先生のお話、アドバイスも最高でした。またまた、やる気が出ました。
- ◆フォローアップ研修をしていただき有り難く感じています。講師の先生方のお話をしっかり受け止めていきたいと思っています。
- ◆自分自身の学びを深めていき、絆づくりに役立てばうれしいです。さらにレベルアップしていきたいと思っています。

しまね しまね
親学が広がっています
 しまね しまね

右の図は、市町村別の親学ファシリテーター養成講座の修了者をあらわしたものです。

この2年間で、全ての市町村に合計110名の親学ファシリテーターを配置することができました。来年度は、さらに120名の養成を予定しています。このことによって、ますます親学プログラムの活用が広がっていくことを期待しています。

